



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社C&Gシステムズ 上場取引所 東  
 コード番号 6633 URL http://www.cgsys.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)塩田 聖一  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理統括部長 (氏名)小島 利幸 (TEL)03(6864)0777  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日~平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	3,029	△6.2	298	△10.7	333	△6.8	187	△1.9
28年12月期第3四半期	3,231	△1.8	334	△16.9	357	△17.1	190	△29.3

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 215百万円(23.8%) 28年12月期第3四半期 174百万円(△39.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	19.12	—
28年12月期第3四半期	19.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	4,562	2,411	52.1
28年12月期	4,299	2,326	52.8

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 2,375百万円 28年12月期 2,268百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年12月期	—	0.00	—		
29年12月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日~平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,217	△5.1	385	△5.4	419	△4.3	437	80.3	44.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー社(社名) ー、除外 ー社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期3Q	9,801,549株	28年12月期	9,801,549株
29年12月期3Q	182株	28年12月期	182株
29年12月期3Q	9,801,367株	28年12月期3Q	9,801,465株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは当第3四半期連結累計期間において、CAD/CAMシステム等事業では、業界のニーズに合わせた製品提案および技術サポートの提供等により新規販売および既存ユーザーの買い替え需要を喚起したほか、保守更新率の維持・向上に努め着実に収益につなげてきました。また研究開発においては、既存製品の機能強化に取り組み、プレス金型向けCAD「CG PressDesign」およびモールド金型向けCAD「CG MoldDesign」の機能改良版を9月にリリースしました。加えて当社CAD/CAMシステムの他社へのOEM提供およびその他新規事業については、新たな収益の柱とすべく複数の案件について継続して研究開発を進めました。金型製造事業では、平成28年第4四半期以降の受注状況が低調に推移したことから当第3四半期累計期間の業績については減収減益となりましたが、北米での自動車生産を中心とするニーズが堅調に推移する中、新たな顧客開拓を目指し来期以降の売上につなげるための受注活動を行ってきました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、金型製造事業の減収の影響により売上高30億29百万円（前年同四半期比6.2%減）となりました。利益面につきましては、売上高の減少に伴い営業利益2億98百万円（前年同四半期比10.7%減）、経常利益3億33百万円（前年同四半期比6.8%減）となりました。また親会社株主に帰属する四半期純利益は、1億87百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

事業セグメント別では、CAD/CAMシステム等事業の売上高は26億60百万円（前年同四半期比0.3%増）、セグメント利益は2億75百万円（前年同四半期比3.3%増）となりました。国内では、これまでは製造業向け政府補助金の継続等により、ターゲットとなる金型メーカーのソフトウェアに対する設備投資意欲も堅調に推移してきましたが、当第3四半期はその傾向に一服感が見られ製品販売に影響しました。しかしながらOEM関連の売上増加および高い更新率を維持している保守売上が収益に貢献しました。海外における製品販売ではインドネシア・ベトナム等の地域で堅調に推移した一方で本年度より代理店を通しての販売に切り替えた中国では拠点管理コストの減少により利益率は向上しているものの、売上は減少しました。

金型製造事業の売上高は3億68百万円（前年同四半期比36.2%減）、セグメント利益は22百万円（前年同四半期比66.1%減）となりました。前年度末以降の受注状況が低調に推移したことが影響し、好調であった前年同四半期との比較では減収減益となりましたが、業績は想定通りの推移となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して2億62百万円増加し、45億62百万円となりました。主な増加要因は現金及び預金2億63百万円であります。

##### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して1億77百万円増加し、21億50百万円となりました。主な増加要因は前受金1億26百万円および賞与引当金49百万円であります。

##### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して85百万円増加し、24億11百万円となりました。主な増加要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加1億87百万円、主な減少要因は非支配株主持分22百万円および配当による利益剰余金の減少98百万円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の連結業績予想につきましては、平成29年2月10日付「平成28年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,932,275	2,196,137
受取手形及び売掛金	748,677	647,822
たな卸資産	41,627	108,250
その他	149,370	182,426
貸倒引当金	△3,596	△980
流動資産合計	2,868,355	3,133,656
固定資産		
有形固定資産	231,686	229,364
無形固定資産	87,173	52,298
投資その他の資産		
投資有価証券	136,077	168,342
投資不動産(純額)	411,877	404,959
保険積立金	429,377	435,042
その他	150,449	148,834
貸倒引当金	△15,591	△10,192
投資その他の資産合計	1,112,189	1,146,987
固定資産合計	1,431,050	1,428,649
資産合計	4,299,405	4,562,306
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	53,415	63,615
未払法人税等	120,006	84,153
賞与引当金	—	49,597
前受金	615,757	742,181
その他	203,345	161,206
流動負債合計	992,525	1,100,753
固定負債		
役員退職慰労引当金	134,776	143,260
退職給付に係る負債	730,540	803,088
その他	115,053	103,438
固定負債合計	980,370	1,049,787
負債合計	1,972,896	2,150,541
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	125,000	125,000
利益剰余金	1,617,129	1,706,528
自己株式	△86	△86
株主資本合計	2,242,043	2,331,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,904	31,232
為替換算調整勘定	17,214	13,266
その他の包括利益累計額合計	26,119	44,499
非支配株主持分	58,346	35,824
純資産合計	2,326,509	2,411,764
負債純資産合計	4,299,405	4,562,306

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	3,231,309	3,029,748
売上原価	1,263,716	1,119,834
売上総利益	1,967,592	1,909,913
販売費及び一般管理費	1,633,441	1,611,420
営業利益	334,151	298,493
営業外収益		
受取利息	798	717
受取配当金	2,017	2,002
不動産賃貸料	65,801	65,937
貸倒引当金戻入額	6,305	8,016
その他	2,383	8,561
営業外収益合計	77,307	85,235
営業外費用		
支払利息	331	203
不動産賃貸費用	50,344	49,479
その他	3,136	894
営業外費用合計	53,812	50,577
経常利益	357,645	333,151
税金等調整前四半期純利益	357,645	333,151
法人税、住民税及び事業税	151,802	162,209
法人税等調整額	△13,210	△28,222
法人税等合計	138,592	133,987
四半期純利益	219,053	199,164
非支配株主に帰属する四半期純利益	28,069	11,752
親会社株主に帰属する四半期純利益	190,983	187,411

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	219,053	199,164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,943	22,328
為替換算調整勘定	△49,881	△6,009
その他の包括利益合計	△44,937	16,319
四半期包括利益	174,116	215,483
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153,849	205,791
非支配株主に係る四半期包括利益	20,266	9,692



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,653,222	578,086	3,231,309	—	3,231,309
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,653,222	578,086	3,231,309	—	3,231,309
セグメント利益	266,727	67,424	334,151	—	334,151

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,660,966	368,782	3,029,748	—	3,029,748
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,660,966	368,782	3,029,748	—	3,029,748
セグメント利益	275,658	22,834	298,493	—	298,493

(重要な後発事象)

平成29年9月14日に当社取締役であった大野聡太郎氏が逝去したことに伴い、付保しておりました生命保険金の給付が平成29年10月31日に確定し、70,209千円を受領いたしました。

これにより、固定資産計上額との差額62,122千円を平成29年12月期の連結決算において、保険差益として特別利益に計上する予定です。

また、弔慰金等を支給する見込みではありますが、具体的金額、支給時期、方法等について決定しておらず、上記以外の業績に与える影響については未確定であります。